

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                  |    |                |
|----------------|------------------|----|----------------|
| ○事業所名          | JYU×JYUステーションかかず |    |                |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 3月 16日     |    | ～ 2026年 3月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)           | 17 | (回答者数) 17      |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 3月 16日     |    | ～ 2026年 3月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)           | 6  | (回答者数) 6       |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 5月 28日     |    |                |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                         |
|---|--|---|--|
| 1 | 活動が充実している。                                 | 自然体験や物作り活動(カレンダー制作・クッキング等)各季節イベント(ハロウィン・クリスマス会・卒業遠足等)を実施しており、その中で五感に響くような取り組みを通し、子供達が沢山の人と関わり、多種多様な経験をするを大切にしている。 | 季節の行事やイベントは継続していくうえで、個々に向き合った支援を行っていく。 |
| 2 | 社会性が身につく。                                  | 多感な女子中学生が多数在籍していることもあり、日頃から相談に乗ったり、生活に必要なクッキング・おしゃれ・日常生活の作法などを主に社会性を身につける支援を行っている。                                | 今後も子供達の様子に合わせてその都度プログラムは変更していきたい。      |
| 3 | 立地条件が良い。                                   | 近隣に自然豊かな公園や体育館が併設した公民館があるため、体を使ったプログラムを取り入れやすい。ほか、県内主要道路にすぐ出られることもあり、遠出が必要なプログラムを積極的に取り入れている。                     | 子供達の希望を取り入れながら、主体性を育むプログラム内容にしていきたい。   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                     | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 保護者会について。                                  | 現時点では、保護者並びに職員からも必要ないのではと難しいとの声がある。                   | 今年度、高校受験生が多数在籍していることもあり、職員間だけではなく受験生に寄り添った対応に努めるよう、保護者同士での交流の場を設けていく。 |
| 2 | 非常災害時対策の周知が不十分。                            | 非常災害時の対応・職員間の周知方策が不十分である。訓練実施について見える化できていない。          | 定期的に行っている避難訓練について、保護者様と共有できる形で発信していく。                                 |
| 3 | 事業所内に体を動かせるスペースが少ない。                       | 事業所自体がワンフロアの一般住宅ということもあり、運動プログラムの内容次第では実施できないことが多々ある。 | 外部施設の利用やプログラム内容を検討し、可能な限りにて取り入れていく。                                   |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名              |        | 公表日  |     |         |   |  |
|-------------------|--------|--|-----|---------|---|--|
| JYU×JYUステーション かかず |        | 2026年 5月 28日   |     |         |   |  |
|                   | チェック項目 | はい   |     | 工夫している点 | 課題や改善すべき点   |  |
|                   |        | はい   | いいえ |         |   |  |
| 環境・体制整備           | 1      | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 6   |         | 利用者が過ごしやすいよう適切なスペースを確保している。   | 活動内容によって、部屋を使い分けたり、学習時は仕切りを使って集中して取り組めるようにしている。                    |
|                   | 2      | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 6   |         | 基準に沿った職員を配置している。  | 中心となる職員だけではなく、アルバイト職員を入れて児童へ手厚くサービスができるよう努めていく。                    |
|                   | 3      | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 6   |         | 事業所がワンフロアということもあり、職員そして子供達も見渡しが構造化となっている。                             | バリアフリーに関して該当する利用者が在籍していないため現在対応してはいるが、今後設置が必要な際は相談して取り入れるか検討していく。  |
|                   | 4      | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 6   |         | 感染病対策として朝の空気入れ替え、空気清浄機を2台設置しております。                                    |  |
|                   | 5      | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 6   |         | 児童からの申し出ならびに全体での環境を考えたらうで、使用しています。                                    |  |
| 業務改善              | 6      | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 6   |         | 全体ミーティングだけではなく、療育開始前や送迎終了後に療育の振り返りを行い、今後もPDCAサイクルを意識して取り組むようにしている。    |  |
|                   | 7      | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 6   |         | 年度末の時期にアンケートを配布し、業務改善の手立てにしている。                                       | 年度末の時期にアンケートを配布し、集計を計っていく中で、今後も保護者からの意見を事業所の職員間で共有し、業務の改善に繋げていく。   |
|                   | 8      | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 6   |         | 毎日のミーティングや週1回の全体ミーティング、日々の会話や職員面談等で出てきた意見を踏まえながら、業務改善につなげています。        |  |
|                   | 9      | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   |     | 6       | 外部評価は行っていないが、関係機関からの声を聴き、業務に生かしている。                                   | 前年度指導を受けたこともあり、指摘された箇所も踏まえ引き続き業務の改善に努めている。                         |
|                   | 10     | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 6   |         | 事業所研修だけでなく、外部の研修や動画視聴型の研修にも参加している。                                    | R8年度は、法定研修を研修専門のサイトを利用することにした。                                     |
| 適切な支援の提供          | 11     | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 6   |         | ホームページにて公表しています。  |  |
|                   | 12     | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 6   |         | 定期的に職員からの聞き取りを行い、管理者だけではなく、職員にも作成した計画を周知し、共通理解を持つようになっている。            |  |
|                   | 13     | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 6   |         | 職員間で利用者の状況を共有し、望ましい内容と支援内容を話し合いながら作成している。                             |  |
|                   | 14     | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 6   |         | 計画、目標を職員間で共有しており、ミーティングの中で、計画に沿った活動となっているか、どのような支援が必要か検討しながら取り組んでいます。 |  |
|                   | 15     | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  |     | 6       | 利用者に合わせてアセスメントツールやフォーマル・インフォーマルを活用し、日々の支援に活かしている。                     | どの職員でも使用できるように、様式の見直しや項目の変更等、事業所の利用者の適応行動をしっかりと把握できるように見直しも行ってきたい。 |
|                   | 16     | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6   |         | アセスメントの結果を踏まえ、保護者のニーズそして利用者の状況に合わせてながら、必要な項目を設定し、支援内容を設定しています。        |  |
|                   | 17     | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 6   |         | 毎週水曜日に全体ミーティングを実施、事業所全体で活動内容を立案している。                                  | 外部講師も招いたプログラムを模索中。   |
|                   | 18     | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 6   |         | 利用者の活動が固定されないように、職員同士で意見を出し合いながら活動内容を決め、支援を行っている。                     | 平日は利用時間が短いこともあり、活動の幅が狭いため今後検討する。                                   |
|                   | 19     | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。   | 6   |         | デイサービスの計画は、個別活動と集団活動を組み合わせるようにしている。それに沿って支援している。                      | 今後も引き続き職員が参加する中で、子供達の姿を様々な視点から意見を出してもらい、放課後デイサービス計画を作成していく。        |
|                   | 20     | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 6   |         | 来所前に職員同士で送迎の確認や活動の流れの確認を行っている。  | 今後も子供達の来所前に、送迎の確認や活動の流れ、担当する子供達の確認を全体だけではなく一人一人確認をしていく。            |

|              |    |  |   |  |   |
|--------------|----|--|---|--|---|
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                     | 6 | 支援終了時に、利用者の事業所内での様子や活動内容、その時にどのように関わったか等、職員で支援の振り返りや気づいたことを出すように取り組んでいる。 | 送迎の関係で定時を過ぎての時間になってしまうこともあるため、その場合は次の日の送迎開始前の確認と合わせて必ず引き継ぎをするようにする。 |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 6 | その時の利用者の様子や、いつもと違うことがあったら職員間で意見や気づいたことを出し合い、それを記録し検討・改善につなげている。          |   |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し<br>の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                  | 6 | 定期的にモニタリングを行い、職員間で内容を検討したうえで、必要に応じて対応している。                               |   |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。  | 6 | そのように支援している。   | ガイドラインの総則の基本活動について、まだ職員への周知が不足しているため改善していきたい。                       |
|              | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                                       | 6 | 課題・活動場面に意見を言う機会を設けており、自身で考え決める経験ができる機会を多く設けています。                         |   |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                   | 6 | 普段の利用の様子等を全職員から確認したうえで、管理者が会議に参加。管理者の参加が厳しい際は関わりが深い職員での参加をとっています。        | 今後も職員同士で意見を出し合い、会議には管理者またはその利用者との関りが深い職員が参加していく。                    |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                 | 6 |  | 専門機関との連携を今後検討していき、支援の助言や研修にも積極的に参加していきたい。                           |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。                    | 6 | その都度、学校の担任の先生と情報交換ならびに連携を図っている。  |   |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                                   | 6 |  | 必要に応じて対応していく。   |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                           | 6 |  | 現在、該当する児童がいないため対応していないが、移行の際は利用者の担当相談事業所を通して情報の提供や共有を行っている。         |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                                    | 6 | 外部講師のもとで児童の支援につながる研修等を継続して実施していく。  |   |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 6 |  | 交流する機会を計画するも、時期やタイミングが合わないこともあり実施できていないが、引き続き計画を練りアプローチを続けていく。      |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 6 |  | 協議会への参加が出来ておらず、事前にスケジュール等や職員のシフト調整を図り、参加実現に努めている。                   |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   | 6 | 利用者に何かいつもと違う変化が見られた際は、迅速に保護者へ連絡・報告を行っている。                                |   |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 6 |  | 専門性を高めるため研修等に積極的に参加し、その内容を保護者に周知していきたい。<br>また、保護者への研修情報提供も行っていきたい。  |
| 保護者への説明等     | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 6 | 支援の内容や利用者負担等の説明では、保護者が分かりやすく、納得が得られるように丁寧に説明を行っている。                      | 職員にも運営規定、支援の内容、利用者負担等について周知し、保護者から説明を求められた際に対応できるようにしている。           |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 6 | 面談、電話連絡にて双方の意向を確認しています。  |   |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 6 | 支援計画作成時には、支援内容の説明を行い、同意をいただいております。                                       |   |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 6 | 家庭内や学校生活での利用者への関わり方や、声かけの仕方等・育児の相談も多く寄せられているので、随時支援を行っている。               | 引き続き、保護者からの悩みや相談に対して、親身に耳を傾け支援を行っていく。                               |
|              | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 |  | 現在は開催していないが、保護者から一定以上の意見が出た場合は、事業所でも検討していきたい。                       |
|              | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 6 | 事業所への電話やメールだけでなく、事業所内にも苦情箱を設置し、申し出がある場合は早急に対応している。                       |   |
|              | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 | 月1回児童の日常が分かるお便りを発行、また保護者から要望があった際は、画像を送信しています。                           | ブログにて活動内容が分かるようにしている。   |
|              | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 6 | 保管場所の管理やシュレッターの活用を再周知し、職員全員で強化に努めている。                                    |   |
|              | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 6 | 利用者が分かりやすくそして、聞き取りやすいよう配慮しながら伝達している。また保護者への連絡も対応している。                    |   |

|         |    |  |   |  |   |   |
|---------|----|--|---|--|---|---|
|         | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 6 |  |   | 事業所を使っての地域交流はまだ実施に至らないが、地域でのイベントには積極的に参加し、交流を図っている。                     |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。  | 6 |  | 各種マニュアルを策定しており、職員や保護者の理解を得られるよう引き続き周知していきたい。                  |   |
|         | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                        | 6 |  | BCPを策定しており、年間避難訓練計画に基づいて実施しております。年2回の避難訓練は実施している。             |   |
|         | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 6 |  | 契約時や新年度時に状況を確認しており、必要に応じて個々のマニュアルに基づいて対応しております。               |   |
|         | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 6 |  |   | 現在、医師からの指導が必要な利用者が在籍してはいますが、今後そういった利用者が在籍した際は職員間で共有し、指示書を基に支援を行っていききたい。 |
|         | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                     | 6 |  | 安全計画も作成し、計画に基づき研修や訓練を行っています。また、安全管理に留意した環境を心がけ、日々の支援を実施しています。 |   |
|         | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                        | 6 |  | 送迎時の乗車マナーやシートベルト着用など、利用者の安全確保を実施している。                         | 安全計画を配布し、取り組み内容について説明していきます。  |
|         | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 6 |  | これまでの事例を全体ミーティングで全職員に周知している。                                  |   |
|         | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 6 |  | 虐待防止委員会を中心に研修を進めている。  | 社内研修だけでなく、外部の研修にも積極的に参加し、職員の専門性の向上に努めています。                              |
|         | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 |  |   | 現在該当の利用者はいませんが、そのような状況になった場合は、マニュアルに沿って対応し保護者への丁寧な説明と同意をいただき支援計画に配慮します。 |